

観光の力で地方共創へ 浦島観光ホテルの挑戦

経営X投資の力で人手不足を乗り越える

浦島観光ホテル株式会社
福田映美

昭和30年代初期の洞窟温泉



現在の洞窟温泉





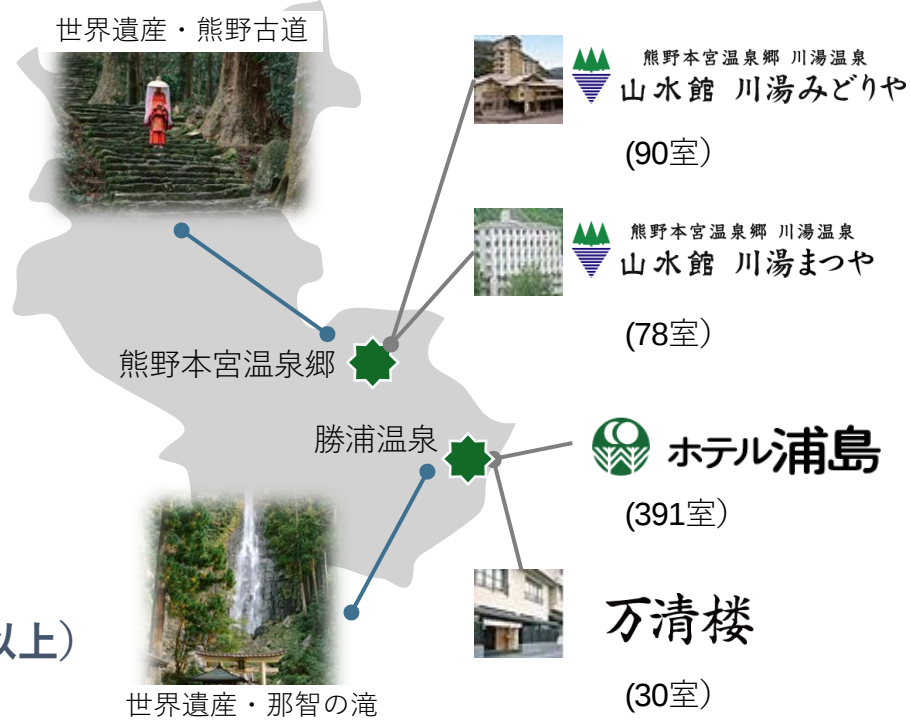
ホテル浦島全景（半島全体）

会社概要

会社名	浦島観光ホテル株式会社（和歌山県東牟婁郡）
設立	1956年（創業69年）
事業内容	紀伊勝浦・熊野本宮地区で4ホテルの運営
業績	24年9月期 売上 38億円 / EBITDA 6億円
従業員数	約230名（2024年9月期現在）

和歌山県最大の独立系観光ホテル（総客室500室以上）

- ・ 勝浦地区における宿泊需要年間36万人⁽¹⁾の50%以上
- ・ 熊野本宮地区における宿泊需要年間10万人⁽¹⁾の宿泊需要の50%以上



地域経済を牽引する中堅企業として

- 雇用の担い手
- 周辺産業への波及（農業・交通・飲食）
- 地域賃金水準のベンチマーク

日本経済を牽引する地方観光業として

- 外国人観光客の誘致（世界遺産）
- 都会への集中の緩和（観光・人口・経済）
- 防災拠点としての役割

地方観光企業のミッション

経営改革・DX投資を通じてギャップ課題を解消

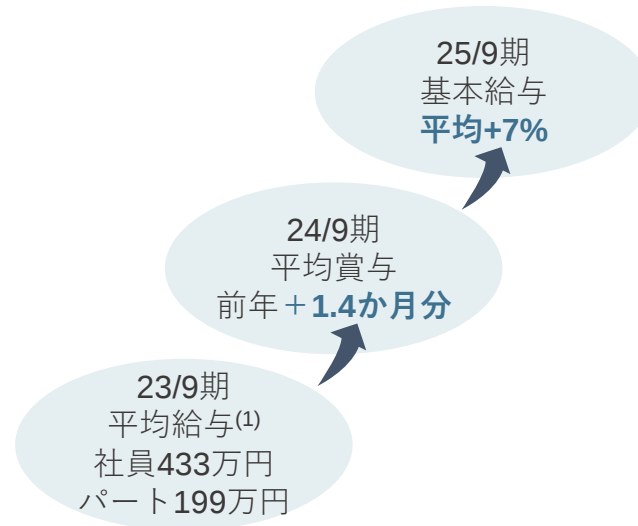
宿泊業を取り巻く現実

非効率・低付加価値の労働供給

- 宿泊・飲食サービス業は全業種中、労働生産性・一人あたり賃金ともに現状最下位
 - 労働生産性：約220万⁽¹⁾/人
 - 一人あたり賃金：約130万⁽¹⁾/人

人手不足・働き手の高齢化の解消

- 従業員平均年齢高齢化
- 人員不足の為、全室稼働できない施設も（レストラン・客室清掃など）



事業承継の成功

地域金融機関の伴走を経て、
2023年に日本共創プラットフォームへ事業承継

- 長期的な経営改革に着手
- 経営中核人材の増強

ソフト面での投資・改革

非生産的な業務のスリム化を目的としたDX投資にまず着手

- 労務管理のDX化
- 社内稟議システムのDX化
- 物流購買システムのDX化

料理改革による高付加価値化

- ビュッフェ刷新で単価UP

賃上げの先行実施

賞与での還元+ベースアップするとともに、労働生産性指標を
全社KPIへ

- 平均賞与年間3.7か月分支給
前年比+1.4か月
(前年支給平均2.3か月)
- 一般社員・パート社員を中心に平均7%の基本給与賃上げの実行

浦島観光ホテル－将来へ向けての実行中の投資



大規模設備投資

経済産業省/成長投資補助金に採択され、**当初より大規模な投資が可能に**

- 投資額約**46億円**実行
 - 2年間合計
 - 売上対比**58%**（年平均）
- 老朽化修繕の対応のみではなく、高付加価値化のための投資が可能に

ソフト面における投資

大規模改修後、稼働UP時にも**現在の人数体制で対応できるオペレーション体制**へ

- 和室ベッド導入により布団敷廃止
 - 高齢化・人手不足対応
- フロント**DX**に向けた基幹システム刷新・**CRM強化**
 - 高度なマーケティングも可能に
- 清掃自動化ロボの導入

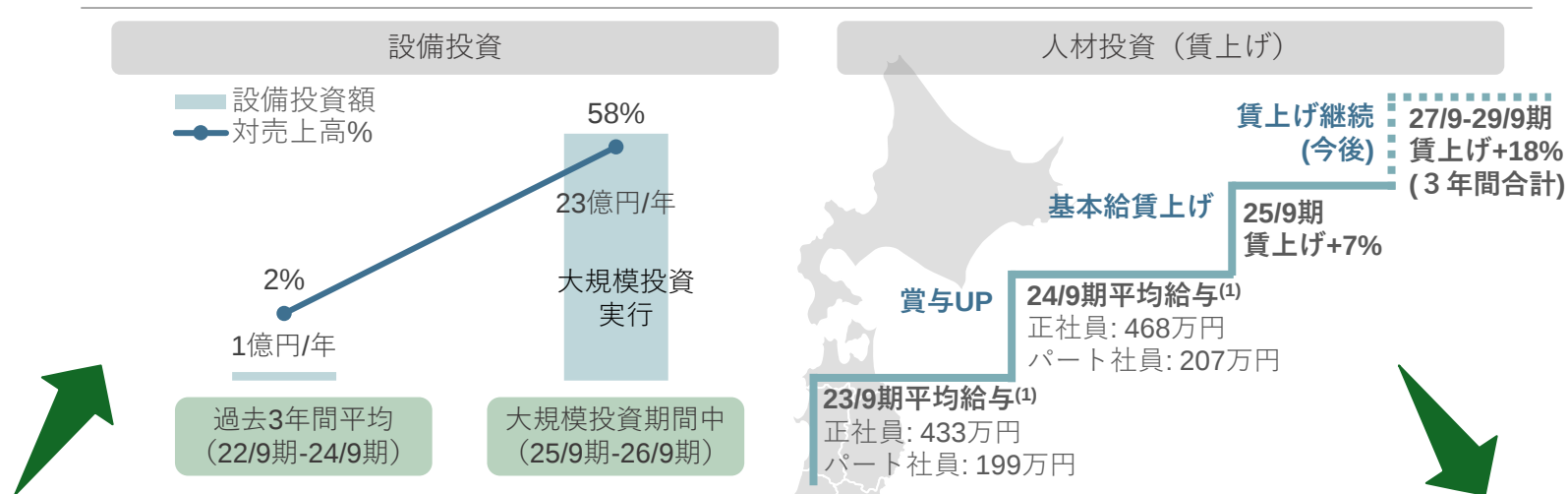
人材への投資

現従業員の**リテンション向上・採用力向上・成長機会の提供**

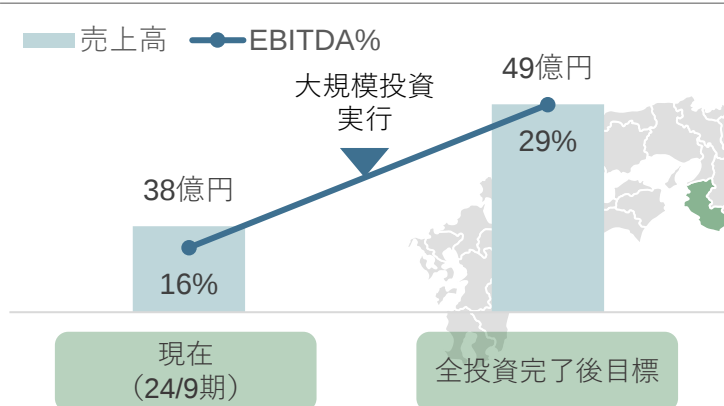
- 年間公休の増加（従来年間**96日**→**108日**へ）
- 賃上げの継続
大規模投資完了後、**3年間で18%予定**
- 施設の高付加価値化に伴うサービスの高付加価値化の教育

浦島観光ホテル 地域経済を牽引し、観光業を通じた地方創生へ

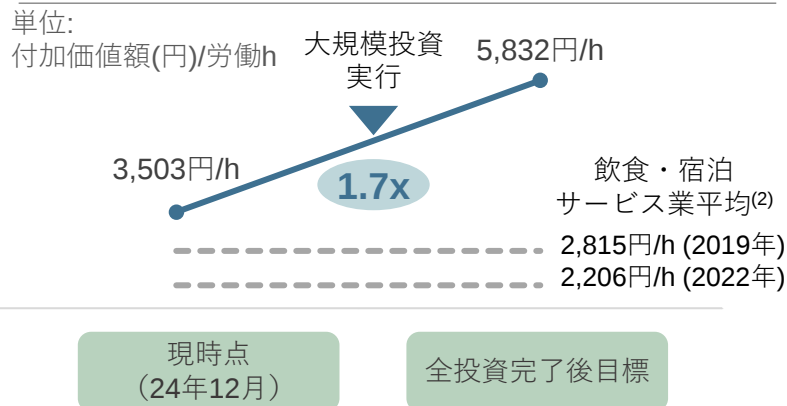
投資継続（設備投資・人材）



収益性向上



労働生産性の継続的上昇



行政支援にも支えられながら、個社としての成長だけでなく、地域と共創へ

(1) 12か月給与支給実績あり及び賞与夏冬支給実績ありを対象とした場合

(2) 公益財団法人日本生産性本部生産性データベース (JAMP) 主要産業の労働生産性水準の推移 (名目)